

特定外来生物 クビアカツヤカミキリ

— 基本情報 —

● 成虫

中国やモンゴルなどが原産。体長は約2～4センチ程度で、全体的に光沢のある黒色と胸部の赤色が特徴。

● 生態

幹の中で2年をかけて成虫となり、6月中旬～8月上旬に幹の外へ脱出する。なお、人体への影響はない。



画像提供：埼玉県環境科学国際センター

出典：きょうと生物多様性センターホームページ (https://www.pref.kyoto.jp/biodic/news/20240118_kubiakakousyu.html)

サクラなどへ被害を出し、分布が拡大中！

サクラやウメ、モモなどの樹木に深刻な被害をもたらす、特定外来生物に指定されている「クビアカツヤカミキリ」虫が、今年7月、京都府内（京都市西京区、向日市、福知山市）で初めて確認されました。国内では、10年余り前に初めて確認。これまでに13都府県に広がっており、近畿地方では大阪府や奈良県、和歌山県、兵庫県で確認されていました。

幼虫は樹木の中で2～3年過ごす

樹木の内部を幼虫が食い荒らして、枯らしながら周囲に次々と広がっていきます。非常に強い拡散力を持っているため、ほおっておくと桜並木全体が全滅に至る可能性が高くなるため、クビアカツヤカミキリや疑わしい痕跡、または成虫や被害木を発見した際には、速やかに情報提供をお願いします。

木くずが出ていたら要注意！

5月～8月ごろにかけて幼虫が積極的に活動して木の内部を食い荒らし、木の根元に木くずが出るのが目印になります。また、成虫になると木の幹から出て、胸の赤い色が特徴になります。



クビアカツヤカミキリや疑わしい痕跡を見かけた場合

見つけた際には、「発見日時と場所・写真・木の種類」の情報提供をお願いします。なお、成虫は速やかにその場で踏みつぶすなど殺処分してください（成虫や卵・幼虫などを生きたまま持ち運ぶことは、外来生物法により禁止されています）。

問

- 京都府自然環境保全課 ☎ 075-414-4706
- 農林環境課 ☎ 43-9023



情報提供
フォーム

警戒中